

# AKB Future Project 2<sup>nd</sup> Stage ~北海道と世界の明日を創る

## 北海道の現状

豊富な観光資源・食・自然  
しかし...  
若者の地元離れ・少子高齢化

理想 - 現実 = 課題

### 〈地域での学び〉

- ・SDGsの視点 × 地域の課題を探究
- ・地域でキャリア課題を探究
- ・地域と協働したプロジェクト実践

### 〈期待できる成果〉

- ・グローバルな視点と地域理解
- ・地域への当事者意識
- ・課題解決に向けた企画力・実践力

## 理想

あらゆる年代が  
住みやすい環境

### 運営指導委員会

### コンソーシアム

北海道教育委員会・胆振総合振興局  
室蘭工業大学・登別市・登別市教育委員会  
登別社会福祉協議会・登別商工会議所  
登別国際観光コンベンション協会

### AKB Future Project 委員会

#### ローカル探究部門

- ・課題探究の企画・運営
- ・地域との協働
- ・5つのユニット（防災・産業・医療・福祉・循環型社会）

#### グローバル探究部門

- ・海外フィールドワーク
- ・イングリッシュキャンプ
- ・SDGsの視点

地域共同学習  
実施支援員



前期課程：地域と世界を知る

4回生：地域課題を探究する

5回生～：地域でキャリア課題を探究する

卒業後のアクションへ

### 令和元年度の目標

### 取組状況

### 成果と課題

#### 課題探究

- ・実施を通して体制を構築
- ・地域フィールドワークの実施
- ・探究をSDGsの視点との関連付け
- ・探究を実社会・実生活との関連付け

- ・4回生5回生で課題探究を実施
- ・全探究が地域フィールドワークを実施
- ・生徒の主体性を重視し、枠組みを適宜調整しながら実施

【成果】：プロジェクト実践型の探究が複教育った  
【課題】：生徒の主体性と教員の関わりバランス／教科の単元を踏まえたカリキュラムの設計／検証と再考察による探究の深まり

#### 地域協働

- ・コンソーシアムへの教育資源集約と、フィールドワークへの活用
- ・地域からの探究講師招聘
- ・生徒のフィールドワークの受入

- ・コンソーシアムの機能と目的について構成団体と情報を共有
- ・地域人材を招聘する活動の実践
- ・4、5回生全員が地域フィールドワークを実施

【成果】：延べ100名もの地域人材の活用／地域人材と協働による生徒主導のイベントの実現  
【課題】：コンソーシアムを情報共有の場で終わらせず、機能の充実を図り、課題探究に活用

#### グローバル

- ・地域と接続する形でのイングリッシュキャンプの実施
- ・地域での探究と関連付ける形での海外フィールドワークの実施

- ・倶知安町において、観光をテーマとしたイングリッシュキャンプを実施
- ・5回生はオーストラリア海外フィールドワークを実施（4回生は新型コロナウイルスの影響で中止）

【成果】：海外FW実施前後に市役所職員とのヒアリングを行い、地域課題と関連付けた  
【課題】：生徒の取組成果や成功例を全体へ普及／地域課題との関連した学び以上の相乗効果の創出